

■台湾：シーメンスガメサ、単機出力世界最大の洋上風力発電機を設置へ

2020 年 5 月 26 日付の現地紙によると、スペインに本社を置く世界的風力発電機メーカーであるシーメンスガメサはこのほど、台湾に 1 万 4,000kW という単機出力が世界最大となる洋上風力発電機の設置を提案する方針を明らかにした。この発電機の設置対象は、三井物産がカナダやシンガポールのエネルギー事業者とともに計画を進めている西方海域における海龍 2 号プロジェクト（30 万 kW）で、2024 年の運開が目指されており、2019 年 11 月にはシーメンスガメサが優先的供給者として選定されている。なお、シーメンスガメサは、この発電機を台湾の台中工場で組み立てることを計画しており、これは同社が欧米以外で風力発電機の組み立て作業を行う初めての事例となる。